

アスファルト舗装工事で「グリーン電力認証システム」を取り入れます。  
(お知らせ)

【ポイント】

- ・ 今回、徳島河川国道事務所が発注した舗装工事（参考資料—1）において、自然エネルギーによるグリーン電力認証システムを取り入れて、環境に優しい舗装工事を行います。
- ・ グリーン電力認証システムとは、グリーンエネルギー認証センターが認定した証書発行事業者とグリーン電力（参考資料—2）を取り引きする仕組みです。
- ・ グリーン電力の使用により **C<sub>o</sub>2排出量を11%削減（杉の木約810本分に相当）** します。 ※杉の木は50年杉で高さが20～30mを想定（環境省・林野庁）
- ・ 施工場所：国道192号徳島南環状道路 とくしまみなみかんじょうどうろ いぬやま 犬山地区
- ・ 施工時期：平成22年2月25日～3月10日

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

副所長（道路） 上林 正幸（かみばやし まさゆき） TEL 088-654-2211（代表）

◎工務第二課長 門田 隆志（かどた たかし） TEL 088-654-9162（直通）

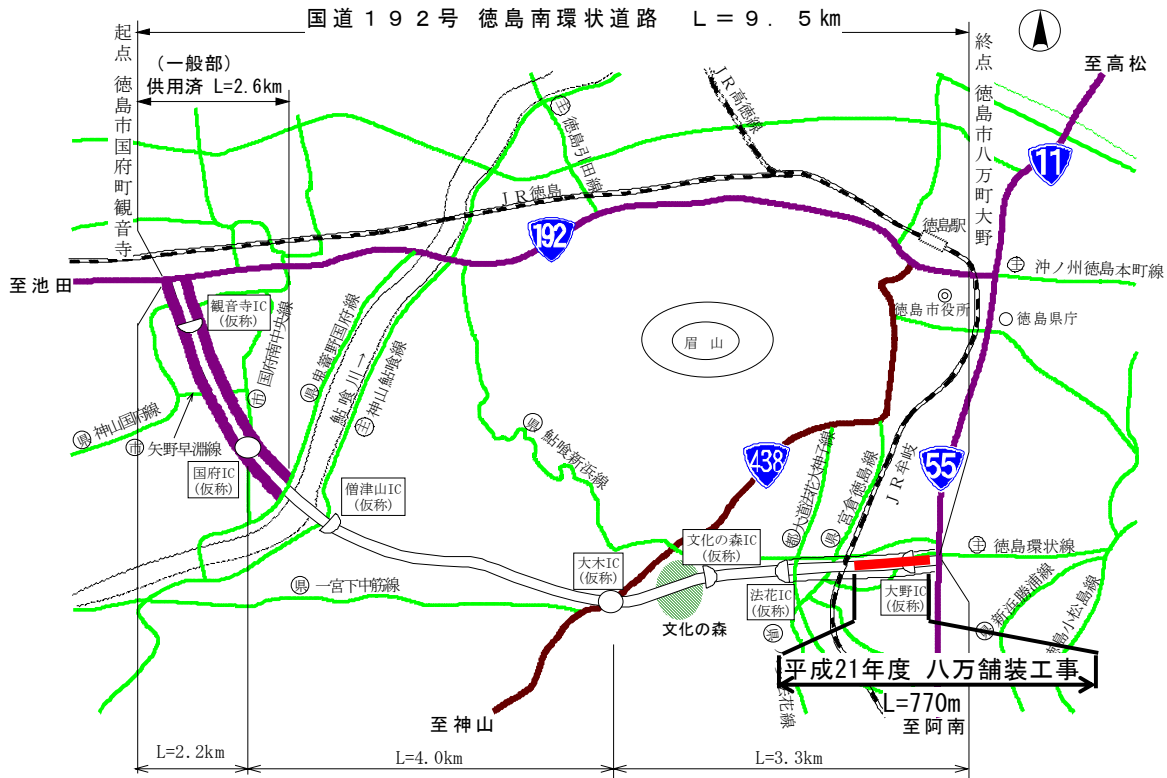
◎主たる問い合わせ先

参考資料－ 1

とくしまみなみかんじょうどうろ  
 国道192号 徳島南環状道路

【概要】

徳島都市圏を環状に結ぶ延長約35kmの徳島環状道路の一環として、国道192号から国道55号を接続し、徳島市内における交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とする道路



垂れ幕でのPR状況



立て看板でのPR状況



## 参考資料— 2

### ※日本自然エネルギー株式会社ホームページより抜粋

グリーン電力とは、風力、太陽光、バイオマス(生物資源)などの自然エネルギーにより発電された電力のことです。石油や石炭などの化石燃料による発電は、発電するときに CO2(二酸化炭素)が発生しますが、自然エネルギーによる発電は発電するときに CO2 を発生しないと考えられています。

#### 自然エネルギーの価値

このように風力など自然エネルギーによる電気は、「電気そのものの価値」の他に、省エネルギー(化石燃料の節減)や CO2 排出抑制といった付加価値を持った電力と言えます。これを「環境付加価値」と呼んでいます。



この「環境付加価値」を、電力と切り離して「グリーン電力証書」という形で購入し、通常お使いいただいている電気と組み合わせることで、自然エネルギーによる発電されたグリーン電力を使用しているとみなすことができます。



#### グリーン電力証書システムとは

「グリーン電力証書システム」とは、自然エネルギーにより発電された電気の環境付加価値を、証書発行事業者が第三者機関(グリーンエネルギー認証センター)の認証を得て発行し、「グリーン電力証書」という形で取引する仕組みです。

「グリーン電力証書」を購入する企業・自治体などが支払う費用は、証書発行事業者を通じて発電設備の維持・拡大などに利用されます。発電設備を持たなくても、証書発行を受けたグリーン電力相当量の自然エネルギーの普及に貢献できるため、地球温暖化防止につながる仕組みとして関心が高まっています。